



## 『少しずつの寛容さ』

登校してきた6年生の子どもが、「将来はラーメン屋さんになりたい」と話してくれました。4月からずっと変わらないその夢を語る姿に、思わず「失敗を恐れず、挑戦することが大切だよ」と声をかけました。

けれど同時に、大人の社会のことも頭をよぎりました。カスハラやパワハラといった言葉が聞かれる今の世の中では、「間違いをなかなか許してもらえない」雰囲気があるようにも感じます。子どもたちは、そんな大人の姿をよく見ています。挑戦する“前向きさ”だけでなく、誰かの失敗を温かく受け止める“寛容さ”もまた、私たち大人が背中を示していきたいと強く思います。

そんなことを考えていたとき、「注文をまちがえるレストラン」の話を思い出しました。認知症の方が働くそのお店では、時々違う料理が運ばれてくることがあります。でも、お客さんは「これもおいしそうだからいいよ」と笑って受け入れ、むしろ「また来たい」と言う人が多いそうです。ほんの少しの“寛容さ”が、人と人との関係をこんなにも温かくするのだと気づかされます。

学校でも、子どもたちに「教室はまちがえていい場所だよ」と伝え続けています。間違えることは恥ずかしくありません。勇気を出して意見を言うこと、そして周りがその“まちがい”をやさしく受け止めること。その両方が、学びを豊かにする大切な力です。

明日から冬休みが始まります。錦郡小の子どもたちは、一人ひとりが本当に素晴らしい資質をもつ、私の自慢の子どもたちです。どこに出しても胸を張れる——校長として、そう断言できます。どうかご家庭でも、成長した姿をたっぷり認め、たっぷりほめてあげてください。

本年も、学校教育への温かいご理解とご協力をありがとうございました。皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。





12月は、錦郡小学校では全校で縄跳びに取り組んでいます。朝のリズム縄跳びの様子です。途中で引っかかっても、何度もチャレンジする姿を見ることができました。

2週目に、なわとび検定が行われました。子どもたちは記録を伸ばすため、休み時間もたくさん練習していました。

記録会が終わっても、リニューアルされた縄跳び台で練習している姿を見ることができます。



4年生で、保護者に来ていただいてフィリピンについて聞き取り学習を行いました。子どもたちはとても興味を持って聞き、たくさんの感想を伝えていました。

その後は、フィリピン料理、「さつまいもの揚げ春巻き（ルンピア）」をみんなで食べました。外はカリカリで、中はホクホクしていて、とてもおいしかったです。



5年生で、「ひらがな日記」を教材とした授業を行いました。子どもたちが自分たちの意見を安心して発表できている姿を見ることができました。

学習を通して、子どもたちは当たり前だと思っていたことが当たり前ではないこと、文字を大切に使いこなさなければならないことを学びました。

